様式１－１

文化遺産総合活用推進事業　実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県白山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	白山市文化遺産総合活用推進計画		
4 実施計画期間	平成　29　年度　～　平成　29　年度		

5 実施計画の概要

「文化創生都市　白山」（平成20年3月19日宣言）や白山市教育振興基本計画（平成26年2月策定）に基づき、長い歴史や豊かな自然のなかで守り育まれてきた文化資源を活用し、郷土愛の醸成や地域間交流の創出、市の魅力発信に取り組む。

これまでに取り組んできた文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業や文化遺産を活かした地域活性化事業等を踏まえ、下記の「地域文化遺産活性化」事業を実施し、市の活性化に貢献する。

(1)“白山民具教材パック”の開発と活用による次世代型郷土教育普及事業（～平成29年度）
(2)加賀白山の獅子舞演舞大会の開催（～平成29年度）
(3)清沢町赤獅子保存会獅子頭修繕事業（平成29年度）

6 実施体制

白山市が、本実施計画にかかる全体の企画・調整や各補助事業にかかる指導等を行う。主な担当課は以下のとおり。
観光文化部文化振興課および関係施設：各補助事業における伝統文化の取り扱い等に関する指導・調整
教育委員会事務局文化財保護課：各補助事業における文化財の取り扱い等に関する指導・調整
観光文化部観光課および観光連盟：観光業務における連携
観光文化部ジオパーク推進室：ジオパーク業務に関する連携

補助事業は次の団体が実施する。
白山市文化遺産活用地域活性化委員会（委員長：油　省三）
構成団体である清沢町赤獅子保存会

7 実施計画における目標と期待される効果	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	（1）補助金額	～平成28年度交付決定額：　44,293 千円	平成29年度申請額：　2,544 千円
	（2）実施事業の概要	別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

(1)行政と文化遺産保存団体との連携体制の構築
(2)市民の文化遺産に対する関心・意識の向上と市民の力による次世代への保存継承
(3)マスコミ効果による「文化創生都市　白山」のイメージアップ
(4)市の魅力発信による観光客の増加

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	地元のケーブルテレビやFM局の協力を得て、各事業のPRや特集の放送・放映を予定
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

現状では「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込みはない。今後策定に向けて検討を進めたい。

12 担当部局

地方公共団体担当部局課	白山市教育委員会事務局文化財保護課

7 実施計画における目標と期待される効果　別紙

目標区分１：	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分１：	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数　（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標１：	民具等の展示を行っている白山市立博物館の入館者数	関連事業:	①		
目標値１：	平成　28　年度　7,800　人　⇒　平成　29　年度　7,600　人				
設定根拠１：	平成28年度までの毎年度平均伸び率▲0.3%に対し、2倍の▲0.15%を設定				
進捗状況１：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度
人	人	人	人	人	人
目標区分２：	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化				
評価指標区分２：	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）　（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標２：	加賀白山の獅子舞演舞大会に出演保存団体及び獅子頭修理団体が、市内の他イベント等に出演した件数	関連事業:	②③		
目標値２：	平成　28　年度　3　件　⇒　平成　29　年度　4　件				
設定根拠２：	平成28年度までの毎年度平均出演件数3件に対し、1.3倍の4件を設定				
進捗状況２：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度
件	件	件	件	件	件

様式１－１別紙②

8（2）実施事業の概要　別紙

事業①：	“白山民具教材パック”の開発と活用による次世代型郷土文化教育普及事業	実施団体：	白山市文化遺産活用地域活性化委員会
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成　29　年度　～　平成　29　年度
事業概要：	平成27年・28年に実施した“白山民具教材パック”の開発と活用による次世代型郷土文化教育普及事業で作成した持ち運びできる「民具学習セット」である“白山民具教材パック”周知し、利用の促進を図り、ホームページで発信するためのコンテンツを作成する。		
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数（ＰＶ数）	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	“白山民具教材パック”ホームページ閲覧数		
目標値：	平成　28　年度　0　回　⇒　平成　29　年度　3,000　回		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度
回	回	回	回	回	回

事業②：	加賀白山の獅子舞演舞大会	実施団体：	白山市文化遺産活用地域活性化委員会
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成　29　年度　～　平成　29　年度
事業概要：	各地域の獅子舞を一堂に集め、演舞大会を開催する。これまで出演のない保存会を中心に声掛けし、出演地域・団体数の充実を図る。演舞大会を通して獅子舞のすそ野の拡大と各保存会の意欲向上を図り、地域での活動の継続・活性化につなげることが目標。		
評価指標区分：	・その他	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	平成29年度出演団体数12団体のうち、1団体以上の新規参加を目指す		
目標値：	平成　28　年度　0　団体　⇒　平成　29　年度　1　団体		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度
団体	団体	団体	団体	団体	団体

事業③：	清沢町赤獅子保存会獅子頭修繕事業	実施団体：	清沢町赤獅子保存会
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成　29　年度　～　平成　29　年度
事業概要：	清沢町赤獅子保存会の獅子頭の修繕を行い、地域の秋祭りで披露する。披露に先立って練習会を開催し、披露の当日には、観覧者・保存会会員向けに地域の獅子舞の歴史や用具の修繕過程を紹介するパネルを作成し、公開する。		
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）	（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	清沢町赤獅子保存会の獅子舞演舞への参加者数について、必要最低人数である45名を確保する。		
目標値：	平成　28　年度　50　人　⇒　平成　29　年度　50　人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		

平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　年度	平成　29　年度	平成　30　年度
人	人	人	人	人	人